

# 献辞

残すところあと1年半で定年を迎えようという、2006年7月砂川先生は急逝されました。

先生が神戸学院大学法学部に赴任されたのは、法学部が創設された翌年の1968年でした。それから40年間近くの長きにわたって先生は本学での教育と研究に専心され、今日ある神戸学院大学の基礎を築かれてこられました。創設当時の御苦労はよく耳にしたところです。2007年に開設なったポートアイランド新キャンパスを目にすることもなく旅立たれたことは返す返すも残念といわざるをえません。

先生は一貫して日本法制史と東洋法制史を担当され、その深い学識で学生を魅了し、われわれ若輩教員に模範を示されました。

教育研究のかたわら、先生は1983年より2年間、学生部長をつとめられ、その高邁なる人徳と法学者ならではのバランス感覚でよく難問を処理され、法学部の学内でのプレゼンスを高からしめました。そしてその後、法学部長としてのご活躍が期待された折も折り、大病を患い就任を諦めざるを得なかったことは、まことに遺憾なことでした。

砂川先生の法学部へのご貢献に感謝し、その活躍を偲びつつ、ご霊前に本追悼号を捧げ、ご冥福をお祈りするとともに、今後、一層の精進をお誓いする次第です。

2008年3月

法学部長 氏家伸一